

昨今、隣国とのもめごとで

注目を集める、海の境界線。

そもそも、海はだれのものなのか!?

海とヒトの関係学③

海はだれのものか

■編著 秋道友彌 総合地球環境学研究所名誉教授 国立民族学博物館名誉教授 / 角南篤 海洋政策研究所 所長 ■A5判264P ■ISBN978-4-908443-50-3 ■本体価格1,600円+税



第1章 なわばりとコモンズ

- ・なわばりと海：秋道智彌
- ・漁業権とはなにか？—海の排他主義を問う：八木信行（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
- ・クジラ取りの系譜：岸上伸啓（人間文化研究機構理事、国立民族学博物館学術資源研究開発センター・教授）
- コラム：IWC脱退と日本の捕鯨：森下丈二（東京海洋大学海洋政策文化学部門教授）
- ・閉鎖される海：中谷和弘（東京大学大学院法学政治学研究所教授）

第2章 越境する海人たち

- ・境界に生きる海人—海の武士団をめぐって：黒嶋敏（東京大学史料編纂所教授）
- ・ヴァイキングが切り開いた交易ルート：小澤実（立教大学文学部史学科教授）
- コラム：環オホーツク海地域をめぐる古代の交流：熊木俊朗（東京大学大学院人文社会系研究科教授）
- ・国境をまたぐ海洋民：門田修（フォトジャーナリスト）
- ・東アジア交易圏の中の琉球：上里隆史（法政大学沖縄文化研究所国内研究員）
- コラム：開国への扉を外から叩いた男—幕末の漂流民、音吉：齋藤宏一（音吉顕彰会会長、元美浜町長）

第3章 海のせめぎ合い

- ・いま東アジアの海で起こっていること：竹田純一（ジャーナリスト）
- コラム：南シナ海に関する比中間の仲裁手続における仲裁判断の意義：西本健太郎（東北大学大学院法学研究科准教授）
- ・海底ケーブル戦争—通信覇権をめぐって：土屋大洋（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
- ・戸所弘光（KDDI海底ケーブルグループ・シニアアドバイザー）
- ・海洋境界の争いは解決できるか：坂元茂樹（同志社大学教授）
- コラム：大陸棚延伸がもたらすもの：谷仲（東洋建設株式会社顧問、GEBCO(大洋水深総図)指導委員会委員長、元海上保安庁水路部大陸棚調査室長）
- ・北極協力体制に向けて：大西富士夫（北海道大学北極域研究センター准教授）
- ・「海のジバング」に向けて：浦辺徹郎（国際資源開発研修センター顧問、東京大学名誉教授）
- コラム：日本固有の領土と発信力：高井 晋（海洋政策研究財団島嶼資料センター長）

好評シリーズ既刊



海とヒトの関係学① 日本人が魚を食べ続けるために

秋道友彌/角南篤/A5判264P
本体価格1600円
ISBN978-4-908443-37-4



海とヒトの関係学② 海の生物多様性を守るために

秋道友彌/角南篤/A5判224P
本体価格1600円
ISBN978-4-908443-38-1

FAX での
ご注文
(受注センター)

FAX: 06-6310-7057
(TEL: 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP: www.jimotonohon.com/
●発行/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	海とヒトの関係学③		注文数(注文品)	冊	ご担当
		海はだれのものか				様
		■著者：秋道智彌、角南篤 ■A5判 264p				日付
		■本体価格 1600円+税 ■ISBN 978-4-908443-50-3				
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057		■発売/西日本出版社				

書店名(番線)	補充注文	海とヒトの関係学①		注文数(注文品)	冊	ご担当
		日本人が魚を食べ続けるために				様
		海とヒトの関係学②				日付
		海の生物多様性を守るために				
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057		■発売/西日本出版社				